

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 時津元村・浜田地区

平成25年6月

長崎県時津町

## フォローアップ状況

### 様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	分散流入交通	台	0	700	719	確定 見込み ●	○	あり なし	618	H25年5月	△	区画整理事業での一部整備につき、総合的な効果波及の不足	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交通量は、目標値の88%の618台があり、新設道路は生活道路としての役割を担っている。
指標2	住環境改善率	%	11	15	17	確定 見込み ●	○	あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標3	通学路の児童数	人	0	400	483	確定 見込み ●	○	あり なし	1024	H25年5月	○	当初の計画に無かったが、新道に付随して直接小学校に入れるように民地の一部を児童専用の道路として借用することとしたことにより多くの児童が通学路として利用することとなった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東小学校の生徒の多く(約700人中512人)が新設道路を通学路としている。そのため歩車分離が図られ、安全性が向上した。
指標4						確定 見込み ●		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み ●		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

### 様式1-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	現況の狭小町道(幅員、約4.5m)の緩和後交通量	台	1,400	397	確定 見込み ●				886	H25年5月	△	狭小町道から直進で進入できる小学校及び保育園があり、その施設へ出入りする車の台数はあまり変わらなかったため、減少台数が少なくなった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交通量の減少は少なかったが、通学路の変更により歩行者数もH20年に1452人からH25年には341人と減少しているため、狭小町道の危険性も少なくなった。
その他の数値指標2	狭小道路(幅員、約4m以下)の撤去率	%	12	14	確定 見込み ●								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み ●								<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	現地工事の実績は僅かな進捗であるが、 建物移転としての建物撤去による集落密 度の緩和や老朽家屋の除去でまちなみ魅 力が窺えるようになり、住環境の創出への 持続。	時津中央第2土地区画整理事業区域内の過密な集落地に 対して土地区画整理事業工事としての道路や水路、及び 宅地造成と建物移転を継続して行った。	今期の事業実施範囲において、幹線道路及び生活 道路の整備によって、道路機能の改善及び居住環 境や防災面等の改善が図られた。	時津中央第2土地区画整理事業(完成予定H42.3.31)の 早期完成への要望が多いので、鋭意努力する。
改善策  ・まちづくりの目標を達成する ための改善策 ・残された課題・新たな課題へ の対応策 ・その他 必要な改善策	既存下水道の移設および新設が区画整理 事業の進捗に併せて必要とされる。	時津中央第2地区の現況下水道布設長は、約2600mで土 地区画整理事業での道路延長は約6600mであり、生活基 盤施設として土地区画整理事業と併せて下水道の移設や 新設工事を行った。	今期の事業実施範囲において、下水道の移設や新 設を行い生活基盤施設整備の充実が図られた。	時津中央第2土地区画整理事業(完成予定H42.3.31)の 早期完成への要望が多いので、鋭意努力する。

様式1-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
		○年○月	
		○年○月	
		○年○月	
		○年○月	